

今日はとことんカエンドキ ―火焰土器をじっくり解説―

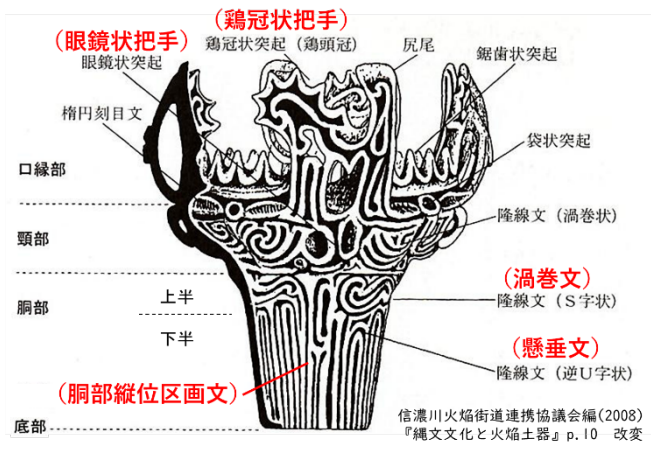
文化財研究室 新田康則

本日のテーマ：今年は発見から90周年。長岡市が世界に誇る火焰土器に関する知識を深めましょう。
火焰土器を知れば、カエンドキもみえてきます。

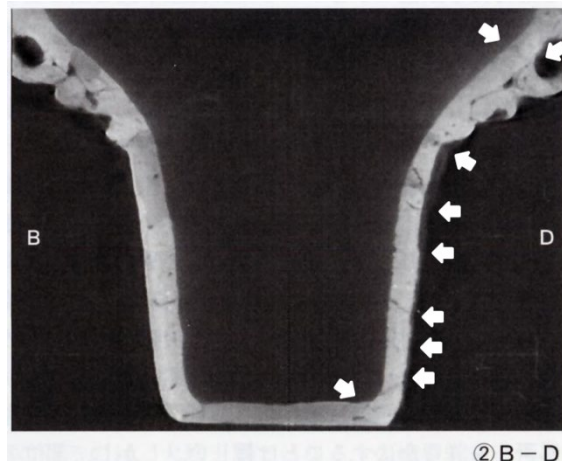
- (1) 縄文土器とは？
- (2) 火焰土器とは？
- (3) カエンドキ・カエンガタドキ・カエンドキ
- (4) 火焰土器の発見者・近藤篤三郎さんの話
- (5) 「火焰土器」名称考 ～関雅之さんの研究から
- (6) 長岡人の火焰土器評
- (7) 火焰土器の渡航歴 ～フランス・アメリカ・ドイツでの展覧会
- (8) 登録商標となった「火焰土器」
- (9) 火焰土器の変遷 ～修復履歴をたどる
- (10) 火焰土器の文様 ～各部位の名称・文様構成・注目点
- (11) 火焰土器はラブ&ピースの象徴？ ～若者文化から
- (12) 火焰土器・火焰型土器の作り方 ～壊れ方から視る。透かしても視る。
- (13) 火焰土器・火焰型土器の使われ方
- (14) おまけ ～火焰型土器の熟覧体験
- (15) 火焰土器発見90周年記念キックオフイベント「カエンドキ🌀ぐるぐる」・ギャラリートーク

【引用文献・カエンドキを学ぶための参考文献 ○印は長岡市立図書館に蔵書があります】

- 馬高縄文館編 2010『馬高縄文館解説シリーズNo.1 火焰土器と馬高・三十稻場遺跡』、長岡市教育委員会
- 國學院大學博物館・信濃川火焰街道連携協議会・新潟県立歴史博物館編 2016『國學院大學博物館展 火焰型土器のデザインと機能』、信濃川火焰街道連携協議会
- 小林達雄・小川忠博 1988『縄文土器大観3 中期II』、小学館
- 関雅之 2006『「火焰土器」名称考』『新潟考古』第17号、新潟県考古学会、p.77-90
- 信濃川火焰街道連携協議会編 2008『縄文文化と火焰土器』〈縄文楽検定テキスト〉
津南町教育委員会編 2018『馬高式土器の成立・展開・終焉 一予稿集一』
- 津南町教育委員会編 2025『研究解説書 苗場山麓の縄文土器』
- 寺崎裕助 2008「火炎土器」小林達雄編『総覧縄文土器』、アム・プロモーション、p.458-465
- 中村孝三郎編 1968『馬高No.1 近藤編』、長岡市立科学博物館
- 中村孝三郎 1995『長岡市史双書No.30 越後の発掘遺跡―想い出の史蹟・思い出の人々―』、長岡市
- 長岡市教育委員会編 2023『転堂遺跡』
- 長岡市立科学博物館編 2001『長岡市立科学博物館開館50周年記念特別展図録・重要文化財考古資料―火焰土器と小瀬ヶ沢・室谷洞窟出土品―』
- 新潟県教育委員会 1980『新潟県埋蔵文化財図録集1 火焰型土器』
- 新潟県立歴史博物館編 2004『火炎土器の研究』、同成社
- 新潟県立歴史博物館編 2009『火焰土器の国 新潟』、新潟日報事業社
- 新潟県立歴史博物館編 2019『あ、これ知ってる！ はにわ どぐう かえんどきの昭和平成』、新潟日報事業社
- 新田康則 2018「道尻手遺跡の火焰型土器 ―地域性への扉を開く鍵―」津南町教育委員会編『津南学』第7号、ほうずき書籍、p106-117
- 新田康則・山賀和也 2024「火焰型土器と王冠型土器の廃棄行動―逆位の出土状況を中心に―」『長岡市立科学博物館研究報告』第59号、長岡市立科学博物館、p.47-62
- 吉田邦夫・西田泰民・小熊博史・宮尾亨・宮内信雄 2014「火焰土器のX線CT解析」『長岡市立科学博物館研究報告』第49号、長岡市立科学博物館、p.47-62
- 和島村教育委員会 1998『松ノ脇遺跡』



火焰土器の各部位の名称



火焰土器のCT画像(吉田ほか2014に加筆)



火焰土器のラブ&ピース



火焰土器(馬高遺跡出土 A式1号) 展開写真【実物は馬高縄文館に展示中】*無断転載禁止*



火焰型土器(馬高遺跡出土 A式2号) 展開写真【実物は馬高縄文館に展示中】*無断転載禁止*